

しっかり手洗い！



手足口病、流行継続中！ 家族内感染にもご注意を！

平成 29 年 12 月 13 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 49 週分・12 月 4 日～12 月 10 日)

《 インフォメーション 》

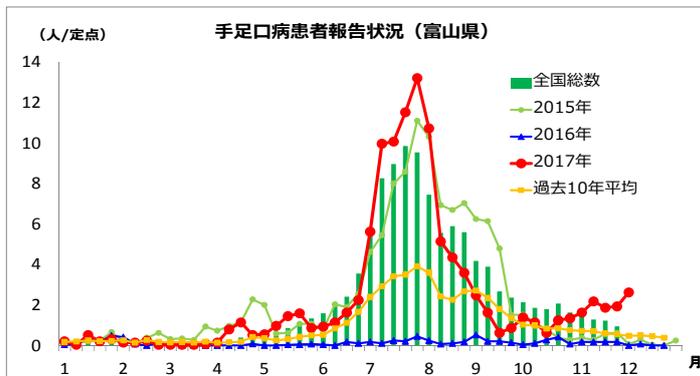
●手足口病

今週、手足口病の報告数が定点医療機関あたり 2.62 人となり、先週 (1.93) から増加しました。この疾患は夏季に流行する傾向があり、今夏は過去 10 年で最も大きな流行となりました。さらに、今年では 11 月から 12 月にかけて増加傾向が続いており、この時期としては過去 10 年で最も報告数が多くなっています (右図)。

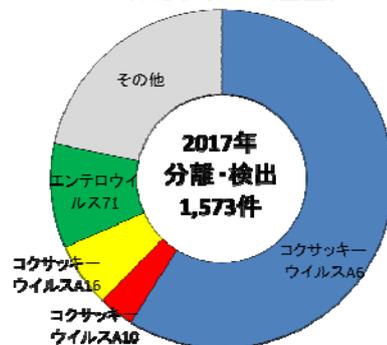
患者は 1 歳をピークに 5 歳以下が全体の 9 割以上を占めています。

手足口病は、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスなど複数のウイルスを原因とする感染症です (下図)。手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹を特徴とします。発熱や食欲不振、のどの痛みなどが見られますが、一般的に軽症で、発疹は 3～7 日で消失します。まれに髄膜炎や脳炎などの合併症状が出る場合があります。急に高熱が出たり、おう吐や痙攣 (けいれん)、意識が無くなったりするなどの症状が現れた際は、すぐに医療機関を受診してください。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染です。**症状がなくなった後も、2～3 週間は便からウイルスが検出されることがあります。** 次のことに注意して感染を予防しましょう。



手足口病患者から分離・検出されたウイルス(全国)



- おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には必ず手を洗う (石けんの使用は効果的)。
- 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。
- タオル等の消毒には、希釈した塩素系漂白剤や熱湯を用いる。

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 3 件 (①20 歳代、女性 ②60 歳代、女性 ③90 歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 1 件 (70 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 急性脳炎 1 件 (第 48 週診断分：10 歳代、男性)

梅毒 1 件 (第 48 週診断分：40 歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	11.86	10.31	↑
2 位	咽頭結膜熱	2.66	2.52	↑
3 位	手足口病	2.62	1.93	↑
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.59	1.55	↑
5 位	インフルエンザ	0.79	0.31	↑
6 位	突発性発しん	0.76	0.48	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第49週 平成29年12月4日～平成29年12月10日）

分類	疾患	今週報告分（第49週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			1		2	3	18	6	52	16	84	176	
三類感染症	細菌性赤痢									1		2	3	
	腸管出血性大腸菌感染症							1	2	14	2	13	32	
四類感染症	E型肝炎											1	1	
	A型肝炎							2				1	3	
	つつが虫病							4				1	5	
	デング熱											3	3	
	レジオネラ症				1		1	6		9	3	19	37	
五類感染症	アメーバ赤痢							1				4	5	
	ウイルス性肝炎							1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2			4	2	8	
	急性脳炎							1		1		2	4	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								1	2		5	8	
	後天性免疫不全症候群									1		7	8	
	ジアルジア症							2		1		1	4	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	1	3	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症							7		5	3	21	36	
	水痘（入院例）									2		1	3	
	梅毒							1		5	1	8	15	
	播種性クリプトコックス症											2	2	
	麻しん											1	1	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	3	5	25	1	4	38	1,892	1,375	2,483	1,571	3,467	10,788
			0.43	1.00	1.92	0.14	0.25	0.79						
RSウイルス感染症		1		6	5	3	15	86	77	308	207	751	1,429	
		0.25		0.75	1.25	0.30	0.52							
咽頭結膜熱		23	7	7		40	77	153	84	268	68	389	962	
		5.75	2.33	0.88		4.00	2.66							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	5	20	1	16	46	170	72	833	255	853	2,183	
		1.00	1.67	2.50	0.25	1.60	1.59							
感染性胃腸炎		28	31	78	31	176	344	1,651	1,008	1,654	685	3,846	8,844	
		7.00	10.33	9.75	7.75	17.60	11.86							
水痘				4	2	3	9	8	35	115	57	148	363	
				0.50	0.50	0.30	0.31							
手足口病		1	8	31	8	28	76	263	237	1,269	312	1,156	3,237	
		0.25	2.67	3.88	2.00	2.80	2.62							
伝染性紅斑								1	1	5	1	20	28	
突発性発しん		2	2	10	4	4	22	55	37	213	75	142	522	
		0.50	0.67	1.25	1.00	0.40	0.76							
百日咳										2			2	
ヘルパンギーナ		4		1	1		6	67	49	263	121	138	638	
		1.00		0.13	0.25		0.21							
流行性耳下腺炎				2			2	173	72	423	78	367	1,113	
				0.25			0.07							
急性出血性結膜炎									4	2	1	7		
流行性角結膜炎								5	234	26	8	273		
細菌性髄膜炎							1				1	2		
無菌性髄膜炎							1				5	6		
マイコプラズマ肺炎				1		1	9	3	18	15	24	69		
				1.00		0.20								
クラミジア肺炎							1	1		1	3	6		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58		
インフルエンザによる入院患者（*）				1		1				13	4	17		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

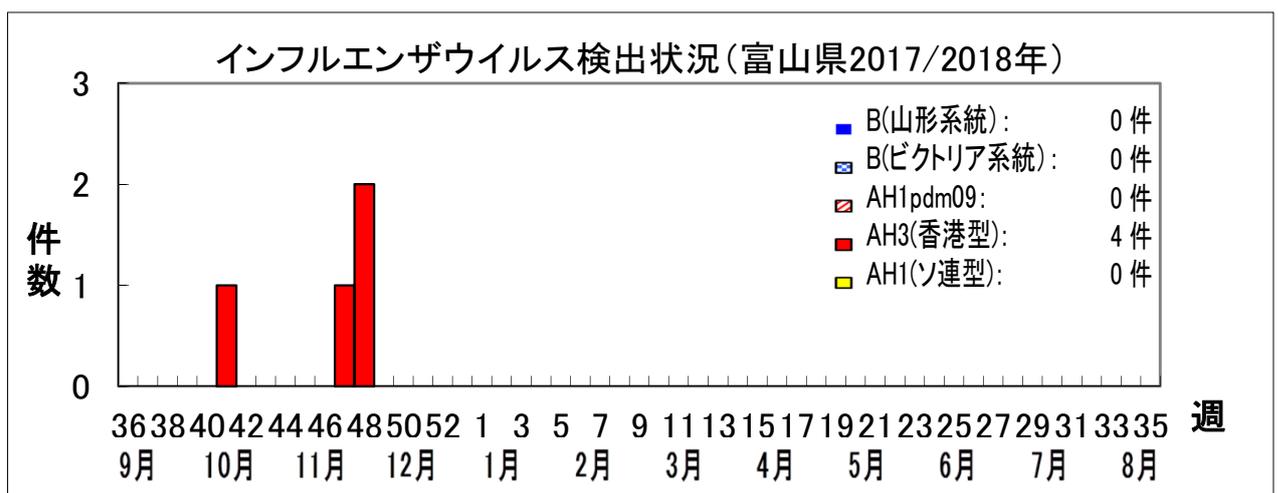
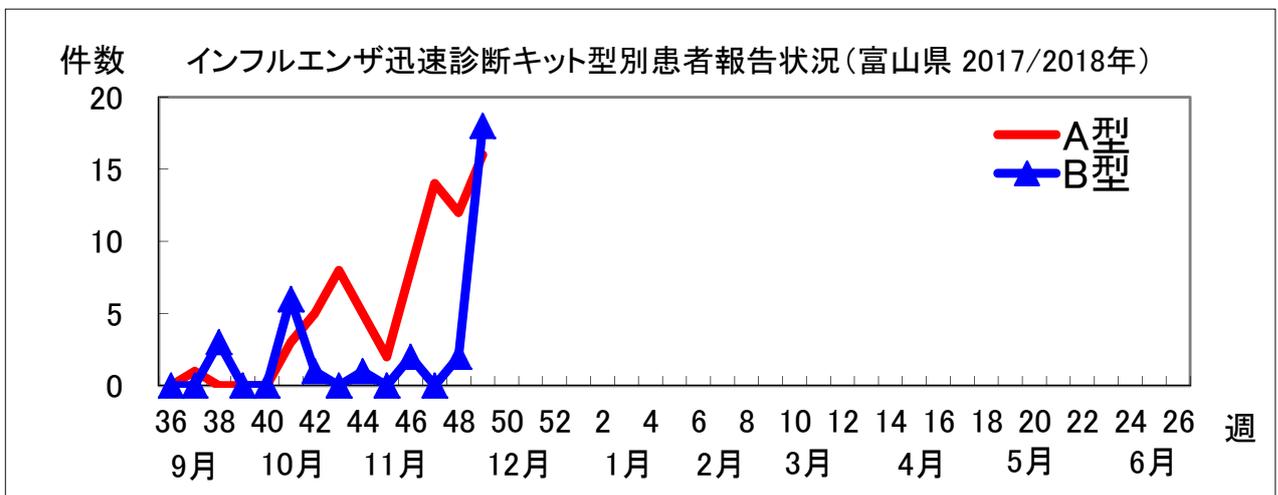
現在、下の表によると、A型が42.1%、B型が47.4%となっています。

第49週(12/4～12/10)：富山県 0.79人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	2	0	1	3
中部	1 / 5	2	0	3	5
高岡	6 / 13	7	18	0	25
砺波	1 / 7	1	0	0	1
富山市	2 / 16	4	0	0	4
富山県	11 / 48 ^{※1}	16	18	4	38
富山県累計(2017年36週～)		74	33	6	113

※1 報告定点数の例(11/48の場合):48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が11か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



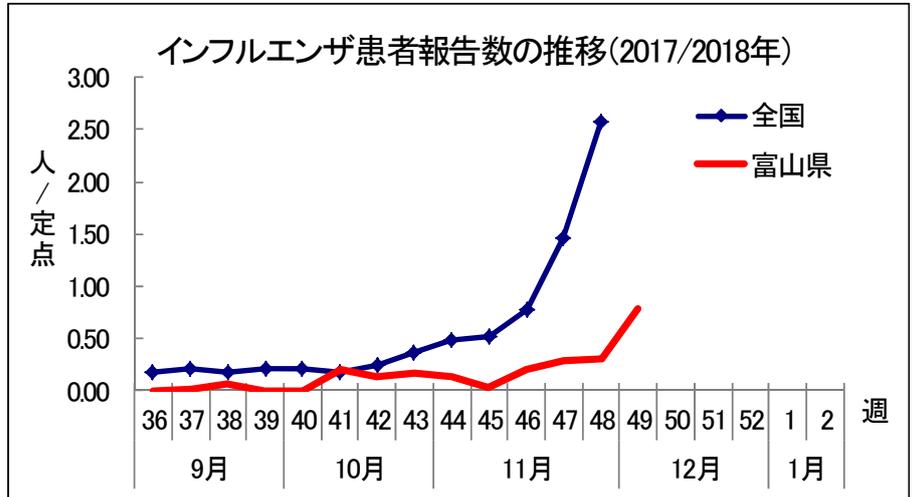


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 49 週 (12/4~12/10) : 富山県 0.79 人/定点

新川 HC (0.43)、中部 HC (1.00)、高岡 HC (1.92)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (0.25)

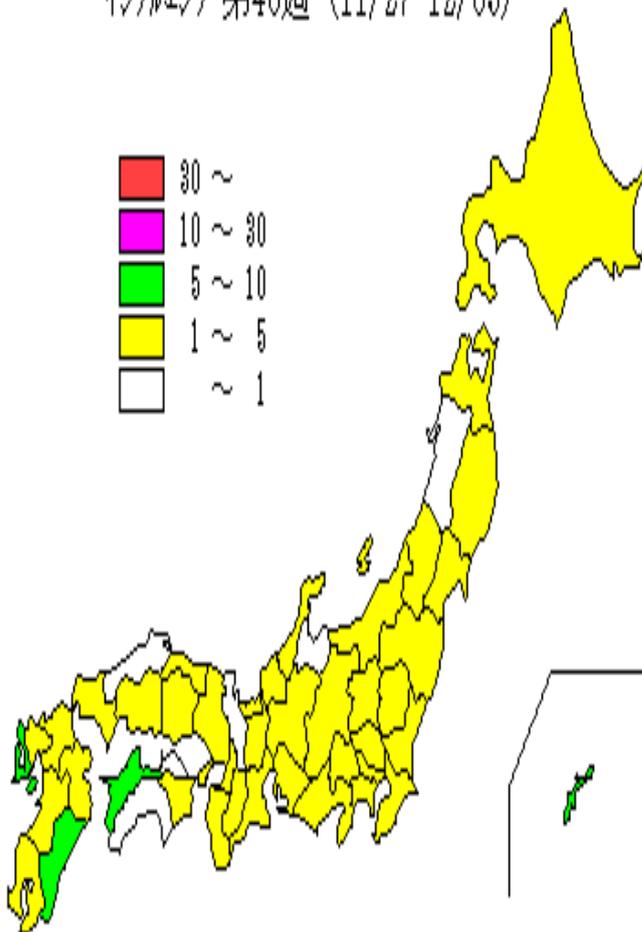
インフルエンザの患者報告数は、県内、全国とも増加傾向となっています。全国の患者報告数は、第 47 週に流行開始の目安である定点あたり 1.00 人を上回り、流行入りしました。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 48 週 (11/27~12/3)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 2.58 人となり、前週の 1.47 人より増加しました。47 都道府県すべてで前週より増加しています。

インフルエンザ第48週 (11/27-12/03)



都道府県	人/定点
北海道	2.59
青森県	1.15
岩手県	1.22
宮城県	3.81
秋田県	0.85
山形県	1.69
福島県	1.35
茨城県	1.28
栃木県	4.88
群馬県	2.33
埼玉県	3.39
千葉県	3.15
東京都	3.17
神奈川県	2.87
新潟県	3.87
富山県	0.31
石川県	4.08
福井県	3.22
山梨県	1.41
長野県	2.89
岐阜県	1.17
静岡県	2.38
愛知県	1.75
三重県	2.64

都道府県	人/定点
滋賀県	1.00
京都府	0.96
大阪府	1.53
兵庫県	1.38
奈良県	1.87
和歌山県	2.71
鳥取県	1.34
島根県	0.74
岡山県	1.37
広島県	2.42
山口県	1.38
徳島県	1.89
香川県	0.47
愛媛県	5.05
高知県	0.17
福岡県	4.33
佐賀県	3.92
長崎県	6.19
熊本県	2.90
大分県	4.12
宮崎県	5.47
鹿児島県	2.50
沖縄県	6.00
全国	2.58

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年11月分）

		11月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1			5	6		3	26		55	84
			1.00			1.25	0.60						
	性器ヘルペスウイルス感染症		3			2	5		9	10	5	25	49
			3.00			0.50	0.50						
	尖圭コンジローマ				1	1				6	10	11	27
					1.00	0.10							
	淋菌感染症							3		4		13	20
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1	1		4	7	14	19	7	27	28	95
		1.00	1.00	1.00		4.00	1.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1	2	1	14	6	7	30
			1.00				0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。